

SolidWorks Office Premiumがコンシューマ向け 製品設計にとって最高の選択肢である**10の理由**

- 1 スケッチ図とジオメトリのインポート
- 2 ScanTo3D
- 3 2Dおよび3Dスケッチ スプライン
- 4 ガイド コントロールを用いたサーフェス スイープ
- 5 フィルサーフェス
- 6 境界サーフェス
- 7 自由形状
- 8 マルチボディ
- 9 PhotoWorks
- 10 使いやすさと視覚化

はじめに

コンシューマ向け製品のコンセプト設計から製造までを成功させる上でメカニカルCAD(MCAD)ソフトウェアは幅広く活用されています。しかしコンシューマ製品の設計においては、機械や装置などを設計するメカニカルエンジニアリングとはそのニーズや成果物が大きく異なります。実は、より複雑なモデリング機能が必要とされることが多いのです。製品のコンセプトが変化する、あるいは提案が却下される可能性を考えると、設計を迅速に作成、変更することができなくてはなりません。様々な条件や使用が既に確定している場合、MCADツールはある程度の変更にも効率的に対応できます。しかし、コンセプト自体が非常に流動的な状態にある場合、コンセプトの変更はMCADを使った設計プロセスの停止につながることもあります。多くの製品設計者がMCADソフトウェアを使用せず、いまだに紙とペン、そしてフォームやクレイモデルを使ってコンセプト設計を行っているのはこのためです。作画と彫刻の才能のある人達にとって、これらの伝統的なツールはコンピュータベースのツールよりも効率的である場合が多いのです。

現在、MCAD業界では設計意図をプロセスのなるべく早い段階で取り込み、製品設計サイクルと市場投入までの期間を短縮しようという多くの取り組みが行われています。設計意図は製品の開発と製造にとって決定的重要性を持つため、SolidWorks Corporationはこれらの課題に対応するだけでなく、設計プロセス全体を効率化するシステムの開発に注力しました。その結果、SolidWorks® Office Premiumはコンセプト設計から具現化までが簡単に行えるソフトウェアになっています。

紙上のスケッチは、これまでも、そして今後も初期のアイデアを表現して他人に見せるための媒体として広く利用されるでしょう。しかし、スケッチを描いた人はしばしば、他の人が理解するよりも深い意味を込めています。あるアイデアに実体を与え、具体化するのには、スケッチを参考とした想像力に他なりません。SolidWorksソフトウェアを設計プロセスの早い段階から使用することで、設計者はアイデアをより効果的に他者に伝えることができます。